

黒岩小学校だより

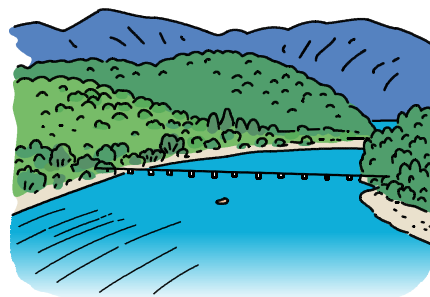
R3-6号

令和3年8月27日発行

「仁淀川に染む」を読んで

「仁淀川」の文字にひかれて買った本を読んで、驚きました。なんと、物語の舞台が「黒岩」だったからです。

本の題名は「仁淀川に染む」（植木博子著、郁朋社）で、戦国時代のお話です。主人公は藤田右馬介という人物で、戦国武将・片岡光綱公の実在する家臣です。片岡光綱は、黒岩城で生まれ育っており、藤田右馬介も黒岩に屋敷があったようです。物語の中で、平野・台住・大田川・瑞応・庄田などの地名が出てきます。



当時は道路整備がされておらず、物流の柱は水運でした。仁淀川河口の新居から川を上り、支流の柳瀬川に入って黒岩に至る行程も物語に出てきます。また、片岡氏の本城である片岡へは、黒岩から山を越えて歩いて行くのが当たり前のようになっています。片岡氏は善政を敷き、この地域では戦場になったことが無く、領民は豊かで穏やかな暮らしをしていたようです。藤田は、この黒岩の地を「桃源郷」のようだと表現しています。

物語の中で、黒岩新町というにぎやかな通りが頻繁に出てきます。黒岩は物流の拠点であり、市で様々な物が売られ、各地からたくさんの人が集まっていることが語られています。黒岩城も立派な城として紹介され、領地のあちこちに茶園堂があり、領民が日頃から茶に親しむ様子も描かれています。黒岩の特産物である茶は、ここから来ているのかもしれませんが。また今に伝わる盆踊りは、片岡光綱の父・片岡茂光が水害に苦しんだ翌年に豊作になったことを祝って始まったと書かれています。

この本を読んで、私は、黒岩の歴史に大いに関心を持ちました。同時に、黒岩の子どもたちにぜひとも知ってもらいたいことだと思いました。

みなさんも、ぜひこの本を読んでみませんか？

今月の論語

しのたま し おこ れい た がく な

子曰わく、「詩に興り、礼に立ち、楽に成る。」

[意味]

孔子先生が、おっしゃった。

「人は詩によってふるい立ち、守るべき礼儀や決まりによって行動し、音楽によって人格を完成させるものだ。」

[解説]

素敵な詩を読むと、心が動かされます。礼儀や決まりが守れるとみんなと仲良くできます。美しい音楽を聴くと、幸せな気分になります。詩・礼・楽は、心豊かな人になるために必要なものです。

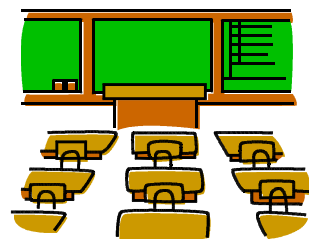
本校におけるコロナ対策

高知県の新型コロナウイルス感染症対策ステージが最上位の「5 非常事態」になったことを受け、本校では以下のような様々な感染対策を実施します。予定していた取組が実施できなくなり、大変残念ですが、今はコロナ対策を優先させたいと思います。

保護者・地域のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

○非常事態期間中（当面9／3まで）の対策 ※学級を越えて集まる機会を作らない

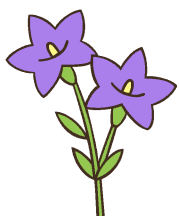
- ・始業式 校長室から各教室への映像配信により実施します。
- ・授業 通常の授業の範囲を超える授業は実施しません。（合同体育など）
感染リスクの高い授業は、実施を見合わせます。（歌唱、ペア活動など）
- ・給食 ランチルームでなく、各学級ごとの実施とします。
1年および2・3年はランチルーム、4年および5・6年は各教室で実施
給食当番は行いません。教職員が配膳します。
- ・掃除 学級のみでの掃除とし、縦割り班掃除は行いません。
- ・朝会・クロスケ 中止



○行事等の実施（9／20まで） ※基本的に中止または延期

- ・ハローウォーク（8／30～9／3）および集団登校（8／30） 中止
- ・夏休み作品展 中止
- ・朝の読み聞かせ（8／30） 中止
- ・委員会活動（8／30） 三密を避け、短時間で実施。図書支援は無し。
- ・太刀踊り練習（9／5） 中止
- ・クラブ活動（9／6） 中止
- ・読み聞かせ（9／7） 中止
- ・あいさつ運動（9／9） 中止
- ・この他、学校外から講師等を招聘して実施するものは延期とします。

9月



の黒岩小学校

学校行事等は、当面、実施しません。

10月からは、地域との連携行事など多彩な行事が実施できることを願っています。

-----きりとり-----

返信【黒岩小だより R3-6】ご意見・ご感想をお寄せください。 お名前（ ）